

教員名	ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ Nurgaliyeva Lyailya	所属学科	国際学科
-----	--------------------------------------	------	------

【ゼミでは何を学ぶのか】

ゼミでは、国際関係の理論から現代の主要な国際問題（紛争、難民、環境、貧困等）を分析する能力を身に付けることを学びます。

具体的には、国際問題や事件（例えば、ロシアのウクライナ侵攻等）がなぜ行なったのか？国際事件の背景と要因を理論的な観点から分析することです。ゼミでは、各学生に国際事件や問題

について資料を配り、その資料から議論を提示し、著者の主張について少なくとも1つの批判を考え、グループ内部とグループ間の議論を通じて、自分の主張を展開する能力を発達させることです。こういったプロセスで、自主的な思考力を身に付け、将来の社会生活に非常に役立つものです。

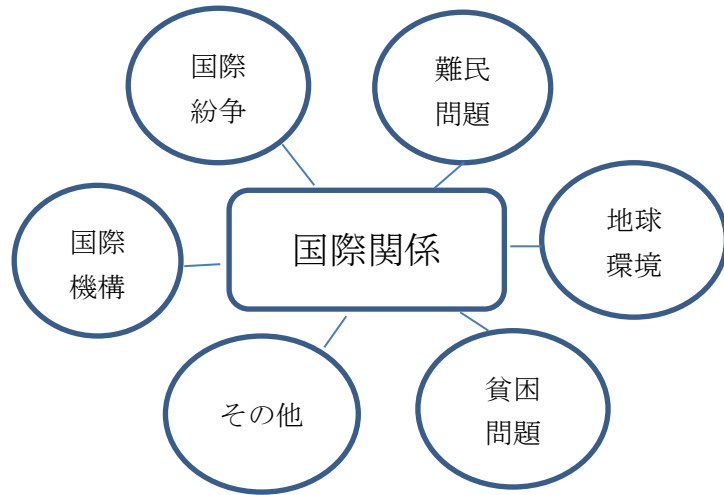


図1. 国際関係学の諸分野

【どのように学ぶのか】

2年次：国際関係の中には、さまざまな分野（例えば、国際紛争、地球環境、貧困問題、国際機構等）が含まれています。これらの分野に関する基本的な知識を得るために、各分野について論文や図書などを読み、まず著者の主張の要約を書く練習をします。次に、著者の主張に対して批判を考え、自分の観点を出し、グループ内部とグループ間で議論を行います。これにより、ゼミ生は自分の主張を展開する能力を身に付けます。

3年次：自分が最も関心を持っている国際関係の諸分野から一つを選び、本格的に学術論文や図書などを読んでいきます。2年次の訓練で得た能力を活かして、自分の主張を強調し、ゼミ内で発表、議論及び質問の回答を行います。そして、高い水準な卒業論文執筆のために、論文の書き方、参考文献の引用方法などを学びます。

4年次：卒業論文の完成を目標とします。2年次と3年次で学んだことを発揮し、よりよい研究成果を出します。例えば、他者の発表を聞き、不足している点や聞き手に分かりにくい点を見つけ、よりよい研究成果を出すために、お互いを批判しながら、サポートしていきます。

【学んだことはどのように生かせるのか】

分析能力と批判的思考能力はどのような職場で活躍しても役立つスキルです。これらのスキルは、コミュニケーション能力、創造性、問題解決力を高めます。職場で批判的に考えることで、アイデアを結びつけ、議論を評価し、誤りを発見し、複雑な問題を解決することができます。職場には、チームや個人が複雑な問題に取り組み、新しいアプローチで解決することが求められます。同僚とコミュニケーションをとり、関係を築き、戦略を立て、問題を解決できる社員は、会社にとって宝です。

【おすすめの入門書・基本テキスト】

1. 天野修司 (2022). 『地政学だけではわからないシン・国際関係論』 イースト・プレス
2. ヘンリー・キッシンジャー、伏見威蕃 (訳) (2022). 『国際秩序 (上)』 日経BP
3. ヘンリー・キッシンジャー、伏見威蕃 (訳) (2022). 『国際秩序 (下)』 日経BP

【まだ見ぬ君へのメッセージ】

世界で大きな事件が起こるたびに、人間社会、さらには地球に住むすべての人々の生活に多少影響を与えることになります。このような大きな事件の背景、要因ともたらず影響について国際関係の諸分野から説明できます。例えば、ロシアとウクライナの紛争は、国家関係、地域安全保障、国際機構、社会生活などの観点から紛争の背景を理解し、紛争の要因を探り、分析を通じて国、地域、さらには世界に及ぼす影響を知ることができます。これらは、国際関係の諸分野に含まれています。国際関係を学ぶことで、国、社会、世界をより明確に理解し、自分の意見を持ち、すべてをより合理的に考えることができるようになればと思います。関心を持つ皆さんの参加をお待ちしています。